



幸せ願う五色の光

ねほんえ
「涅槃会」の団子まき

「ねほんえ」の団子まきは曹洞宗の寺で行われる習わしです。お釈迦様が火葬されたとき五色に輝き、その遺灰を弟子たちが丸めてお守りにしたという伝説にちなみ、色付けされた団子がまかれます。町内では松音寺（川井）、宮昌寺（宮下）、龍昌寺（名入）で毎年受け継がれてきました。（9 ページに関連記事）

西隆寺（西方）では 3 月 20 日、およそ 40 年ぶりに行われ、本堂には 100 人を超える方々が集いました。団子は赤、白、黄、緑のほか、桐炭を入れた黒い団子も作られ、遠藤弘住住職と護寺会役員の皆さんが一齐にまき、参加者は御利益を求めて拾い集めました。



三島大橋と只見川の眺めは、当町を象徴する風景の一つ

美しい村
美しい風景 Vol.08

町づくりの懸け橋
三島大橋

町の中心部で只見川を横切る三島大橋。雄大な只見川と赤い橋が、当町を象徴する風景の一つとなっています。

三島大橋は、通勤や通学など毎日の生活で必ず渡る方も多い重要な橋です。橋の建設は昭和30年の宮下村・西方村合併時の計画の一つでした。しかし建設にかかる多額の費用は国や県に頼るしかありません。町では要望を続け、やっと補助が認められて昭和47年9月に着工、50年10月に完成しました。

その翌年には町営バスの運行が始まり、ふるさと荘も建設されました。全国初の「ふるさと運動」の勢いに乗り、活気に満ちていた町が想像されます。三島大橋は当時の町民にとって、まさに『未来への懸け橋』だったのではないのでしょうか。橋の竣工記念碑には、当時の田中角栄内閣総理大臣の書が刻まれています。

自然を愛し
未来を創造する
わがふるさと三島

4月
目次

- 2 美しい村美しい風景 Vol.08
三島大橋
- 3 萩野耕古
- 4 平成25年度
町の予算
- 6 町の重点事業
- 8 TownNews7 みしまの出来事
第32回三島町生活工芸品展・第12回全国編み組工芸品展／お寺の団子まきを集う／流しびなに祈りを込めて／三島保育所満了式／三島小卒業式／三島中卒業式／おひな様を作ったよ
- 10 ズームイン6
町民記者の地元密着通信
消防団宮下班が歩道清掃／川井長寿会総会／大石田で観音講／厳かに春彼岸法要会／伝統守り「ひな流し」／高清水の「百万遍」
- 12 教育長に矢澤源成氏
県立宮下病院
外来診療について
- 13 保健・子育て・健康づくり予定
／区長名簿／地区担当職員名簿
- 14 民話 第25話 ホトトギス昔
ゆめぼけつと Book Review
- 15 間方の暮らしを体感
ツアーを2回実施
プレイバック広報みしま
- 16 ねんりんピック参加者募集／県民健康管理調査問診票の書き方
出前説明会／会津坂下警察署から／町の人口と世帯／ご寄附
- 17 消防庁長官表彰、小島純さん
町交通教育専門員に栗城功さん
東北電力(株)から社協に寄附
町の人事
- 18 暮らしに技
心に生きがい
第32回三島町生活工芸品展
第12回全国編み組工芸品展
- 20 大林ふるさとの山
編集後記



書道を志した高知の青年
その技術と品格を会津に残す
はぎのこうこ
萩野耕古

毛筆で「みしま」と書かれた本紙の題字は、公民館報として発行していた1968年(昭和43年)から45年間ずっと変わっていません。書家・故萩野耕古が書いたものです。

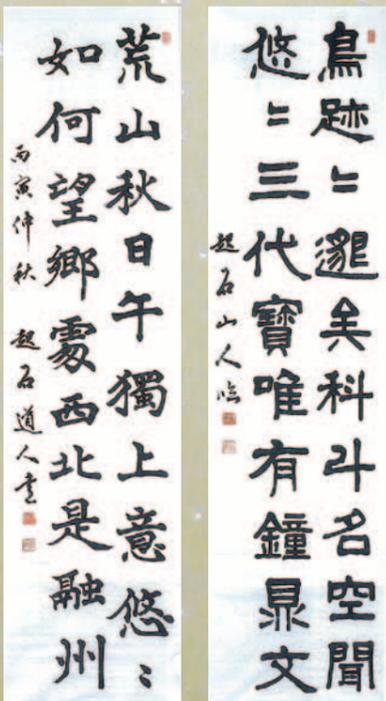
萩野耕古(本名・保)は1902年(明治35年)、高知県の小筑紫村(現・宿毛市)に生まれました。若いころから書道を志し、21歳のとき中国金州に渡り、書の腕を磨きました。

31歳のとき会津に来て各地に滞在し、書作品の揮毫、指導に当たりました。坂下で出会った河越イツと結婚。その後も上京して活動しましたが、戦災のため1945年(昭和20年)、妻イツの故郷である当町に疎開しました。その後は坂下中事務員

県立会津農林高校講師などを務めながら、県や会津での書道の発展に尽力し、数々の書作品を残しました。町公民館の依頼で「みしま」の題字を書いたのは66歳のときです。

明治、大正、昭和の荒波に生き、

その一生を書道にささげた萩野耕古。あらためて「みしま」の題字をよく見ると、驚くのは流れるような三文字の上下が真つすぐにそろっていること。その書は研ぎ澄まされた技術と品格に満ちています。



五言絶句

柳宗元詩

特に隷書、楷書の達人といわれた萩野耕古の書作品(交流センター山びこ、生誕100年・萩野耕古展図録より転載)

萩野耕古 年譜

- 1902年(明治35年) 高知県の小筑紫村(現・宿毛市)に生まれる。
- 1917年(大正6年) 15歳 私立高知工業学校入学。在校中、書道を志し、日々三千字を練習する。
- 1923年(大正12年) 21歳 中国金州に渡り書道研究に当たる。
- 1926年(昭和1年) 24歳 東京市復興事業局工事課に勤務する。
- 1933年(昭和8年) 31歳 会津に来て、坂下、山部、熱塩など各地に滞在し、書の揮毫、指導に当たる。
- 1937年(昭和12年) 35歳 坂下で河越イツと結婚。以後、二男三女をもうける。
- 1939年(昭和14年) 37歳 上京し、吉田苞竹の門に入る。
- 1940年(昭和15年) 38歳 臨時東京第 陸軍病院職業教育部の書道教師となる。
- 1945年(昭和20年) 43歳 戦災のため、妻イツの故郷である当町に疎開する。
- 1948年(昭和23年) 46歳 坂下中事務員となる。
- 1949年(昭和24年) 47歳 県立会津農林高校書道講師となる。
- 1958年(昭和33年) 56歳 宮下小に勤務する。
- 1973年(昭和48年) 他界 享年72歳
- 1988年(昭和63年) 妻イツ他界 享年78歳

みしま

1968年12月15日発行の公民館報第36号から続く題字。1993年4月号から当時の「町政だより」と統合し、「広報みしま」に移行。現在まで表紙を飾っている

町の予算



Pickup1 住宅
若者が町に住む選択肢の充実を図るため、検討委員会の意見を集約しながら、新たな町営住宅建設や宅地造成などの住環境整備を目指します。今年度は世帯用住宅の設計、敷地造成を予定しており、26年度内に本体工事の完成を目標に進めます。
● 産業建設課
☎ (48) 5566



Pickup2 防災
安全で安心した生活のできる町づくりと災害発生時の迅速な対応を目指し、防災拠点となる役場庁舎・町民センターの非常時電源整備や、地区集会所の耐震診断のほか、停電時も使用できる防災無線受信対応の防災ラジオの各戸配布などを実施します。
● 総務課
☎ (48) 5511



Pickup3 福祉
高齢者の方々が安心して町に住めるよう、高齢者集合住宅の建設に今年度着手します。入居要件などについては検討委員会の意見を集約して決め、26年度からの供用開始を目指します。また健診結果に基づく個別保健指導の充実を図り、健康づくりを支援します。
● 町民課
☎ (48) 5555



Pickup4 教育
児童数の減少に伴い、今年度は三島小2年生と3年生が複式学級となりました。これに必要な支援を県と町で実施するほか、数学の補充教員の配置、外国語指導助手の単独配置、ICT教育などを実施し、小規模校のメリットを生かした教育を目指します。
● 教育委員会
☎ (48) 5599



Pickup5 美しい村
当町は昨年、「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。美しい村づくり条例の制定や町内案内看板整備を実施するとともに、町民が気軽に楽しみながら参加できる運動を広げ、誇りを持って「美しい村」といえる町をつくっていきます。
● 地域政策課
☎ (48) 5533



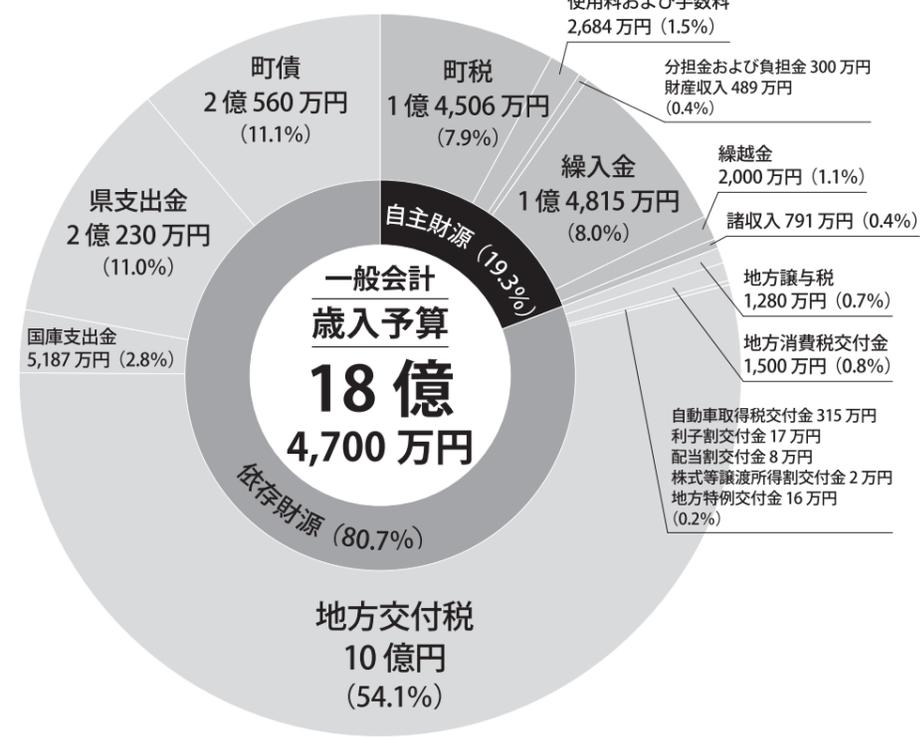
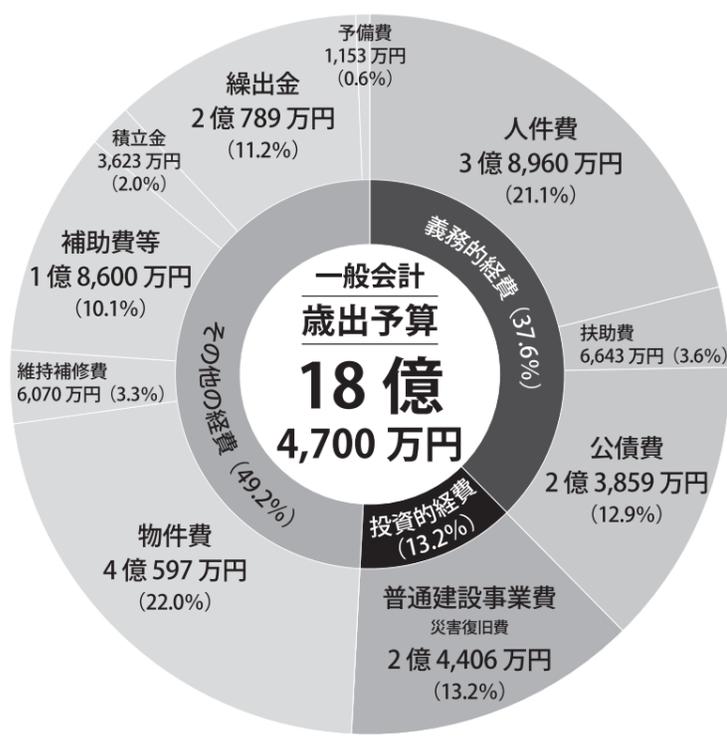
Pickup6 農林
地域の担い手となる認定農業者の農地集積を支援し、優良農地の保全や遊休農地解消を進めます。また生育がうまくいかず減少している桐については、会津桐ブランドを受け継ぐ「桐の里」として植栽・生育管理に力を入れ、保存・継承を推進します。
● 産業建設課
☎ (48) 5566



Pickup7 観光
町観光協会にツアー企画などを引き続き委託し、旅行商品としての体制を強化していきます。また観光情報はパンフレットのほか、スマートフォンなどの端末に配信する準備を進め、ブログやフェイスブックも活用しながら効果的なPRを目指します。
● 地域政策課
☎ (48) 5533

主な投資的事業の予算額

防災拠点非常用電源整備 (設計)	500 万円
地区集会所耐震診断	378 万円
土地購入費	2,150 万円
旧西方児童館屋根改修	400 万円
旧西方駐在所解体	200 万円
美しい村の案内看板整備	600 万円
高齢者集合住宅建設	1 億円
林道倉掛沢線・大窪矢柄線舗装	300 万円
観光交流館からんころん駐車場整備	315 万円
町道川井小野川原線路面補修	550 万円
大谷鳥海堰水路改修	1,000 万円
三島大橋修繕 (調査・設計)	1,137 万円
名入大石田線法面保護 (測量設計)	354 万円
建堀東橋線消雪施設 (測量設計)	528 万円
町営住宅建設 (設計)	1,225 万円
消火栓設置 (桧原、大石田)	1,011 万円
小型消防ポンプ付積載車 (大石田班)	600 万円
防災無線受信対応防災ラジオ各戸配布	811 万円
町民プール (三島小) ろ過機改修	440 万円
スノーモービル購入	105 万円



町の一般会計と7つの特別会計の予算が、町議会3月定例会で議決され、新年度の行政がスタートしました。震災から2年。県内ではいまだ多くの困難がある中で、当町も将来を見据えていかなければなりません。今年度は住宅施策など新たな事業の着手を予定しています。

平成25年度 会計別予算額

会計種別	予算額	前年度からの増減
一般会計	18億4,700万円	+1億977万円
特別会計	国民健康保険	2億5,235万円 (+711万円)
	簡易水道	1億514万円 (+1,392万円)
	路線バス	2,165万円 (-47万円)
	農業集落排水	2,137万円 (-207万円)
	介護保険	4億2,945万円 (+5,955万円)
	戸別合併処理浄化槽	3,834万円 (+180万円)
	後期高齢者医療	2,902万円 (+81万円)
合計	27億4,432万円	+1億9,042万円

用語の説明

- **一般会計と特別会計**
町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。
- **町税**
町民の皆さんに納めていただく税金です。町民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。
- **町債**
町の借金で、公共施設の建設など、一時的に多額の費用を必要とする場合の財源に充てられます。
- **地方交付税**
町の財政力に応じて、国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定のサービスができるよう、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。
- **国庫支出金**
町が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金です。
- **県支出金**
町が行う特定の事業に対して、県から交付されるお金です。
- **人件費**
報酬や給与などです。
- **物件費**
賃金、旅費、消耗品費、燃料費などの消費的な経費です。
- **維持補修費**
道路や公共施設などを管理するための経費です。
- **扶助費**
高齢者、児童、心身障がい者などに支援する経費です。
- **補助費等**
町からの団体などに対して、特定の目的で支払う補助金などです。
- **普通建設事業費**
道路や公共施設などの整備のための経費です。
- **公債費**
町の借金を償還する(返す)ための経費です。
- **積立金**
財政運営のために積み立てるお金です。
- **繰出金**
一般会計から特別会計に出しているお金です。



空き家対策

空き家の問題が深刻化しています。町内全体の約14%に達しており、集落の荒廃・防災・防犯上の不安も増えています。一方で町外から移住し空き家に住む例も見られ、もっと空き家を活用できれば定住促進も期待できます。

町では空き家の解体費または空き家を活用するための改修費を助成します。すでに今年度の申請受付を開始していますので、詳しくはお問い合わせください。

【助成の額】
対象経費の3分の2以内の額
※上限100万円

① 審査を行い採否を決めますので、必ず工事を始める前に申請してください。
② 空き家の所有者を必ずご確認ください。
③ 所有者が亡くなられている場合は、相続権利者や課税対象者などの確認が必要となりますので、事前にご相談ください。

☎ 役場 地域政策課 ☎ (48) 55333

美しい村づくり

美しい村づくり

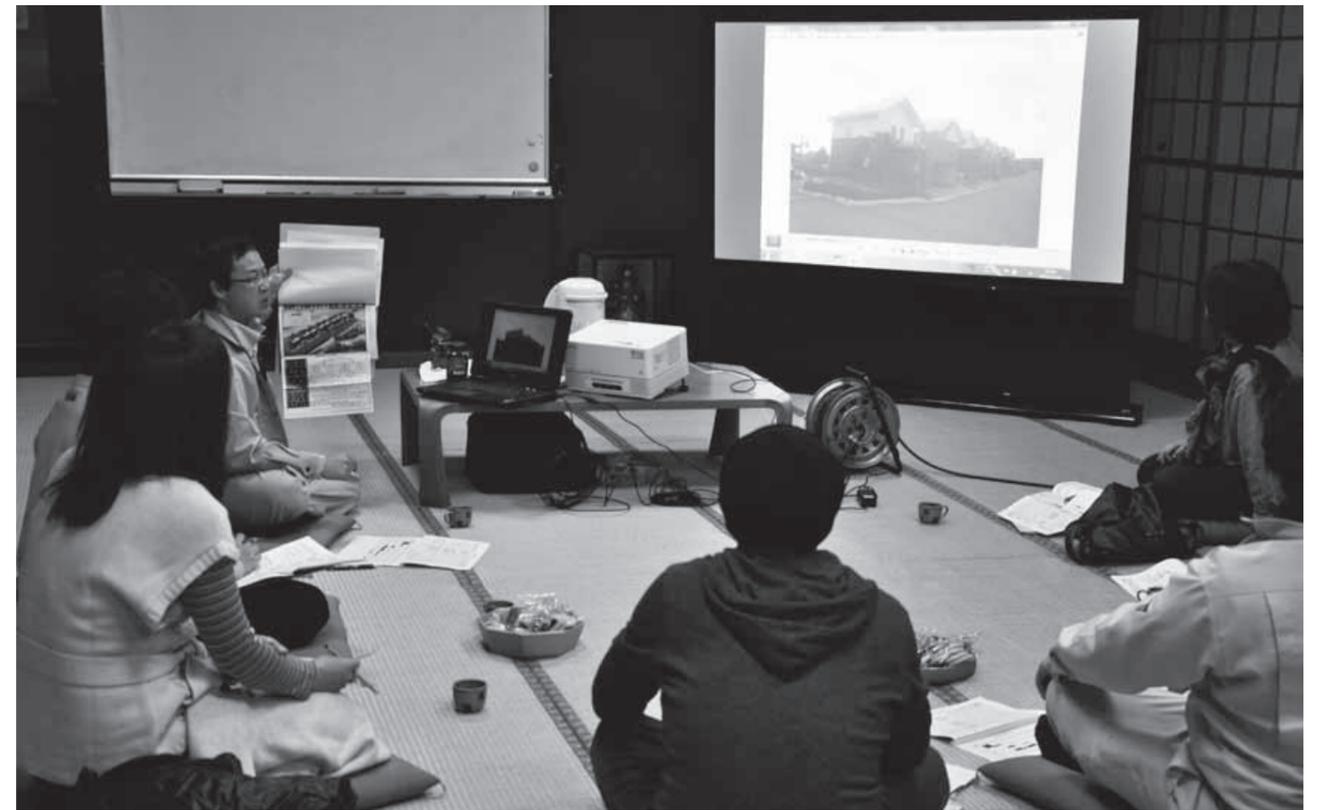
当町は昨年度、「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。町民の皆さんの地道な活動が認められた大きな成果です。

町民が一体となって、町の美しさを守り、さらに磨き、誇りを持って「日本で最も美しい村」といえる町をつくりましょう。訪れた方々に「美しいな」と言ってもらえる町をつくりましょう。それは住んでいる私たちの暮らしを豊かにすることもあります。楽しみながら気軽にできる取り組みを展開し、町を上げた運動に育てていきたいと思えます。美しい村づくりにつながる各地区の取り組みについては、地区支援事業補助金などにより優先的に支援します。また連合ロゴマークの使用権を十分に活用するとともに、加盟町村のネットワークを生かした町のPRを行い、先進事例の研修にも努めていきます。

【今年度の主な予定事業】

- ① 美しい村づくり町民運動
- ② 美しい村づくり条例の制定
- ③ 地区支援事業補助金
- ④ 町内サイン（案内看板等）の再構成
- ⑤ 連合ロゴマークの使用によるPRと連合事業への参加

☎ 役場 地域政策課 ☎ (48) 55333



住環境整備検討委員会の町営住宅建設部会では、他自治体の例も参考にしながら、新たな住宅の整備について検討しています。一般の方を交えた話し合いをこれまで4回重ねてきました。子育て世代や単身者などの要望を踏まえ、住宅の大きなテーマと具体的な内容について洗い出しています。

町営住宅整備

町に住む選択肢を増やし
需要に応え、定住につなげるために

新規住宅の整備と
既存住宅の修繕・活用

民間の賃貸住宅などがない当町において、町営住宅は大きな役割を持っています。現在の町営住宅は常にほぼ満室で、新たな入居が難しい状況です。また老朽化の問題もあります。

町では昨年10月に住環境整備検討委員会を設置し、町営住宅等の整備検討に取り組みました。一般の方を交えた話し合いを踏まえて、大枠の方針を決めました。まず子育て世代などの需要に応えるために、世帯用住宅の整備検討を優先します。設計と敷地造成を今年度中に実施する予定で、来年度内の完成を目指します。単身者の需要に対しては、既存住宅の活用も含めて検討していきます。

町では今後、住宅政策の目標と実現方法を示す計画や、町営住宅の長寿命化、計画的な建て替えや修繕などについての計画を策定し、中長期的な維持管理を図っていきます。

☎ 役場 産業建設課 ☎ (48) 5566

町営住宅整備年次計画

	平成25年度			平成26年度		平成27年度
世帯用住宅	基本設計	実施設計	本体工事発注準備	本体工事		入居開始
	解体・敷地造成発注準備	解体・敷地造成工事				
単身者用住宅	用地検討	基本計画	基本設計		実施設計	
					工事発注準備	敷地造成工事
既存住宅	住生活基本計画策定 町営住宅長寿命化修繕計画策定			長寿命化計画を基にした修繕等の実施		

※年次計画は今後の検討・実施状況により変更する場合があります。

高齢者福祉・介護予防

当町の高齢化率は47.5%で、高齢者の一人暮らし、二人暮らしは合わせて300世帯に迫り、介護を必要とする方が増えています。町では介護予防の取り組みや、高齢者の見守り体制の整備を推進します。また今年度、生活に不安を抱える方や一部介助すれば生活できる方などを対象とする「高齢者集合住宅」の建設を予定しています。

当町の介護認定・利用状況

	平成24年度
認定者数	207人
在宅サービス利用者数	85人
施設サービス利用者数	75人
給付見込み額	3億8,390万円

当町の一人暮らしなどの状況

	平成24年10月現在
一人暮らし	146世帯
二人暮らし	137世帯
合計	283世帯

【今年度の主な事業】

- ① 高齢者集合住宅整備
 - ② 防災告知端末を利用した見守り通報システム
 - ③ 介護予防の充実
- ☎ 役場 町民課 ☎ (48) 5555

子育て支援

学校・家庭・地域・行政が連携を取り、地域の特色を生かし、各年代の方々が「地域の子ども」を育てていく町ぐるみの環境づくりを進めます。また三島保育所では三島小学校と連携しながら、学習を意識した保育に努めます。

【今年度の主な事業】

- ① お弁当サポート事業
 - ② 学校支援地域本部事業
 - ③ ゆめぼけっとクラブ
- ☎ 教育委員会 ☎ (48) 5599



第32回三島町生活工芸品展 五十嵐陽二さんの「むしろ」が大賞 第12回全国編み組工芸品展 福田令子さんの「ヒロロバッグ」が経産大臣賞



全国編み組工芸品展の作品が展示された会場。来場客は首都圏など遠くからも訪れた。経済産業大臣賞を授与する本展は今年で12回を数え、作品数も年々増えてきている

第32回三島町生活工芸品展（町展）と第12回全国編み組工芸品展（全国展）は3月16日・17日、生活工芸館と交流センター山びこで開催されました。町民から募集した町展には96人から679点が寄せられ、大賞には五十嵐陽二さん（名入）の「むしろ」が選ばれました。全国展には15府県99人から659点が寄せられ、最高賞の経済産業大臣賞には福田令子さん（栃木県）の「ヒロロバッグ」が選ばれました。同省伝統的工芸品産業室の多田俊樹室長が福田さんに表彰状を手渡しました。

会場では朝早くから、午前9時の開場を待つ長い行列ができました。昨年からの状況を踏まえ、今回は山ブドウ細工とヒロロ細工のかご、バッグ類の販売は1人1点までとし、多くの方が購入できるよう配慮しました。また臨時駐車場を設け、来場客の増加に対応しました。（18・19ページに関連記事）

夢ふくらませ、8人が満了 三島保育所満了式

三島保育所満了式は3月27日に行われ、年長児8人が満了しました。矢澤源成所長から満了証書を受け取ると、後ろで待つお母さんのところに向かい、「ありがとうございました」と言って満了証書を預けました。その後、入所児全員で「思い出のアルバム」などを歌い、思い出がたくさん詰まった保育所とお別れしました。保護者の方々は、小学校へと進むわが子の成長した姿を温かく見守りました。



大きく成長し、保育所を満了した8人の児童たち

支えてくれる人への感謝を胸に 三島小卒業式 12人が中学へ

三島小卒業式は3月22日に行われ、12人が卒業しました。卒業生は一人一人名前を呼ばれ、佐藤則之校長から卒業証書を受け取りました。佐藤校長は『美德をもって飾りとなす』（美しい内面を飾りとして生きる）という新島八重の言葉を紹介し、「内面を磨く努力をしてください」と話しました。

また1年生から5年生までの在校生49人がそれぞれ進級しました。2年生と3年生は複式学級となりました。



中学校の制服を着て式に臨んだ12人の卒業生

自立した人間になることを誓う 三島中卒業式 8人が巣立つ

三島中卒業式は3月13日に行われ、8人が門出を迎えました。星信男校長が式辞を述べ、「良心に従い、情熱を持って生きてください」と励ましました。また卒業生一人一人が「今まで支えられてきた」「自立した人間になりたい」など自分の言葉で気持ちを伝えました。三島中卒業生／五十嵐基（大谷）、五十嵐豊香（西方）、板橋健太（中平）、酒井康太（西方）、二瓶勇（桑原）、長谷川滉太（宮下）、長谷川川平（川井）、本名将（西方）



希望に胸をふくらませ、卒業証書を受け取った卒業生

お寺の団子まきに集う 町内4カ所の寺で「涅槃会」の行事

「涅槃会」の行事は、宮昌寺（宮下）、松音寺（川井）、龍昌寺（名入）、西隆寺（西方）でそれぞれ行われました。これはお釈迦様が亡くなられた日とされる旧暦2月15日の行事で、涅槃図を掲げて読経した後、団子をまく習わしです。宮昌寺では3月15日に行われ、西隆寺の遠藤弘佳住職が読経し、行事の由来を説明。最後に赤や黄色の団子がまかれ、参加者は歓声を上げながら拾い集めました。



宮昌寺（宮下）で行われた「涅槃会」の団子まき



紙びなを入れた木箱を只見川に流す矢澤雅生くん

流しびなに祈りを込めて 高清水の「ひな流し」

高清水地区に伝わる「ひな流し」は3月4日に行われました。家々で飾った手作りの紙びなを、木箱に入れて只見川に流す行事です。紙びなは家族の女性の人数分作られます。同地区でただ一人の小学生、矢澤雅生くん（小3）が各家を回って紙びなを木箱に集め、只見川に流しました。付き添った地区の皆さんは流れていく紙びなに手を合わせました。新聞社のカメラマンや一般の写真愛好者が訪れ、希少な行事を撮影しました。



ワンダークラブでおひな様を作った子どもたち

かわいいおひな様を作ったよ ワンダークラブ

保育所入所前の乳幼児を対象としたワンダークラブは3月1日、三島保育所で行われ、5人の子どもたちが参加しました。ひな祭りにちなんで、おひな様を作りました。紙皿にちぎった和紙を張って着物にし、顔を描いてかわいいおひな様が出来上がりました。その後、保育所のお兄ちゃん、お姉ちゃんと一緒にちらし寿司をおいしく食べ、楽しい時間を過ごしました。ワンダークラブ ☎教育委員会 ☎ (48) 5599



ピッカピカの歩道に 消防団宮下班が清掃

文・写真 町民記者 小島 純さん (宮下)



消防ポンプで放水し、歩道をきれいにした宮下班の皆さん

消防団宮下班は3月24日、宮下地区の歩道を清掃しました。班員たちは自動車ポンプで放水しながら、竹ぼうきやスコップで歩道の泥やゴミを取り除きました。作業は午前から午後まで行われ、歩道はきれいに磨き上げられました。この清掃活動は、新学期を迎える児童生徒たちの登下校の安全を祈って、毎年この時期に行われています。

元気で長生きしようね。 川井長寿会総会

文・写真 町民記者 角田伊一さん (川井)

このほど川井長寿会総会が開催されました。元気老人32人が出席しての盛会でした。みんなで新年度の予算や事業計画を熱心に話し合い、元気で長生きするために、お互いに助け合い、会の活動に積極的に参加していくことを確認しました。総会後の懇親会も盛り上がり、改選された旧役員の労をねぎらうなど終始和やかな集いでした。



川井集会所で開かれた川井長寿会総会

大石田で観音講 子どもの成長を祈る

文・写真 町民記者 渡部 和さん (大石田)



観音堂にお参りした後、懇親会を開いた大石田の観音講

毎春恒例の大石田の観音講は3月10日に行なわれ、26人の女性たちが参加しました。夕方、全員で地区の観音堂にお参りしたあと、改善センターで懇親会を開きました。部屋に掛けられた観音様の掛け軸にもお参りし、大きな団子をお護符にいただきます。生まれてくる子どもへの祝福とすこやかな成長を祈りながら、和やかなひと時を過ごしました。

和讃流れ、厳かに春彼岸法要会

文・写真 町民記者 坂内洋二さん (西方)



西隆寺で行われた春彼岸法要会

西隆寺の春彼岸法要会は3月20日、多数の檀信徒が集って行われました。「般若心経」、「修証義」を遠藤弘佳住職について全員で読経した後、梅花講の方々が御詠歌を唱える中、祖先の霊に香を手向けて思い思いに祈りを捧げました。本堂を包む紫煙とご詠歌の響きの、荘厳に満ちた感動的な供養が今も西方の郷には引き継がれています。

なお、法要、護寺会総会終了後、「涅槃会」の団子まきが行われました。

伝統を守り、今年も「ひな流し」

文・写真 町民記者 菅家敏一さん (高清水)

高清水地区の伝統行事「ひな流し」は3月4日、晴天に恵まれた中で行われました。桃の節句に女の子の健やかなる成長を祈り、各家庭で作り飾られた紙びなを、木箱に入れて只見川に流します。水の流れに揺られていく木箱に入った紙びなを見送る方々には感慨深いものがあったようです。小さな地区の行事ではありますが、協力し合っているだけでも続けてほしいものです。



「ひな流し」を行った矢澤雅生くんなど高清水の皆さん

高清水の「百万遍」 無病息災を願って

文・写真 町民記者 菅家敏一さん (高清水)



長く大きな数珠を回す伝統行事「百万遍」

高清水地区で2月7日、無病息災、五穀豊穡を祈願する伝統行事「百万遍」が行われました。同地区の矢澤雅生くん(小3)が母・昌江さんとともに、長くて大きな数珠を持って各家を回り、家族の方々と一緒に「ナンマイダ、ナンマイダ」と唱えながら左回りで3回まわりました。各家の方々は、良い年でありますようにと願いを込めて数珠を回していました。

教育長に矢澤源成氏

矢澤源成氏（高清水）は4月1日、町教育委員に任命され、二瓶町長から任命書を受け取りました。同日、町教育委員会は教育長に矢澤氏を選出し、阿部和彦教育委員長が矢澤氏に任命書を手渡しました。

矢澤氏は元町職員で61歳。「委員が一体となって教育行政に全力を尽くしたい」とあいさつしました。任期は平成29年3月31日までの4年間です。



教育長の任命を受ける矢澤源成氏

北館長一教育長が任期満了で退任
北館長一教育長は平成21年4月1日に教育長に就任し、4年間の任期を終えて退任しました。長年の教職経験をもとに、当町の教育行政に尽力しました。退任式は3月29日に行われ、北館教育長は職員に対し、「役場はいつの時代も町民が就職したい職場の一つです。仕事においても人間としても、信頼されるように頑張ってください」と話しました。



退任のあいさつをする北館長一教育長

県立宮下病院の外来診療について

4月から
外科を休診。外傷などは内科で対応
整形外科・神経精神科は毎週診察
耳鼻咽喉科・皮膚科は午前診察

地域の皆さまには、平素よりご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。平成25年4月1日付けの人事異動で、紺野武彦医師が退職し、根本大樹医師が異動となりました。

その結果、外科を専門とする医師が不在となりましたので、しばらくの間、外科外来を休診とさせていただきますが、対応可能な外科的症状（外傷、打撲、切創など）については、内科にて変わらぬ診療を続けてまいりますので、ご安心ください。また高齢化が進んだ地域の医療需要に添えていくため、今まで隔週としていた「整形外科」および「神経精神科」

を毎週いたしました。これにより診療時間中の混雑が解消され、今までご利用いただけなかった患者さまも余裕をもって受診していただけるものと思っております。

さらに今まで午後の診療としていた「耳鼻咽喉科」、「皮膚科」を午前の診療とし、当院の送迎バスを利用して通院されている患者さまにも受診していただけるよう変更いたしました。今後当院の基本理念である「心ある医療」のもと、地域の皆さまに信頼され、満足していただける病院を目指し努力してまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

県立宮下病院の4月からの外来診療

診療科	診療日	診療時間
内科	平日	9:00~17:00
外科	休診	—
整形外科	毎週水曜日（第5週を除く）	9:00~12:00
神経精神科	毎週火曜日	9:00~12:00
耳鼻咽喉科	第1・第3金曜日	9:00~12:00
皮膚科	第2・第4金曜日	9:00~12:00

※皮膚科の4月の診療時間は第1・第3木曜日の14:00~17:00となります。また応援医師の都合により、診療日が変更となる場合がございますので、あらかじめ当院までご連絡ください。

☎ 県立宮下病院 ☎ (52) 2321



県立宮下病院
黒沢正喜 院長

保健・子育て・健康づくり

☎ 町民課 ☎ (48) 5565



実施予定

4カ月児健診

4月9日(火) 11:15~ 坂下厚生総合病院
5月14日(火) 11:15~ 坂下厚生総合病院

3歳児健診

4月17日(水) 13:00~ 柳津町・銀山荘

乳幼児健診

5月23日(水) 13:10~ 町民センター
※乳児・1歳6カ月児・2歳児

足腰げんき教室

▶室内運動編
4月11日(木) 13:30~ 町民センター
5月8日(水) 13:30~ 町民センター
▶水中運動編
4月25日(水) 13:00 町民センター集合
(河東学園プールへ送迎)
5月16日(水) 13:00 町民センター集合
(河東学園プールへ送迎)

機能訓練会

4月10日(水) 14:00~ 福寿草
5月22日(水) 14:00~ 福寿草

心の健康相談（※事前申し込み必要）

5月20日(月) 13:30~ 福寿草
《申込先》町民課 ☎ (48) 5565

※この実施予定は、別に配布しました平成25年度健康づくり年間予定表（ピンク色の一枚刷り）から転記しています。



平成25年度 区長名簿

地区	区長氏名	世帯数
宮下	五十嵐 健二	170
荒屋敷	渡部 政司	20
桑原	長谷川 一雄	19
中平	横山 洋介	29
大登	馬場 正信	41
川井	森田 啓悦	45
桧原	鈴木 隆	51
滝谷	目黒 直	51
大谷	五十嵐 正	51
浅岐	角田 清一	23
間方	菅家 壽一	36
西方	坂内 洋二	114
大石田	飯塚 浩市	62
名入	小柴 喜美雄	38
小山	鈴木 孝一	7
高清水	矢澤 倉一	20
滝原	板橋 徳美	14
早戸	五十嵐 和吉	15

平成25年度 地区担当職員名簿

地区	担当職員
宮下・荒屋敷	目黒 政 寿 真田 多恵子 諏訪 義徳
中平	舟木 孝治 青木 武彦
桑原	秦 一夫 北館 亮
大登	角田 陽市 五十嵐 義幸 黒澤 寿樹
川井	森田 勝二 二瓶 聡子 角田 伊織
桧原	鈴木 庄蔵 阿部 ふく 山口 一也
滝谷	星 保弘 大竹 重一郎 大竹 夏奈
大谷	小柴 謙 横倉 三代子 五十嵐 義展
浅岐	諏訪 典子 二瓶 仁志
間方	菅家 直人 宗形 和哉 武地 葉子
西方	小堀 庄太郎 本名 光子 五十嵐 優
大石田	渡部 繁信 大竹 真理子 栗城 拓郎
名入	佐々木 健二 二瓶 大樹 大場 まゆみ
高清水・小山	小松 昭 小柴 成人
滝原	板橋 淳也 佐久間 絹江
早戸	秦 和幸 佐久間 淳

※地区担当職員は各地区の取り組みをサポートするために配置しています。なお日常の相談などについては、担当職員に限らず身近にいる職員にいつでもお話してください。

民話

第25話

ホトトギス昔

昔々あるところで、ひどい飢饉が続いてなあ。大勢の人が餓死したそうだなあ。

ある家では、ふた親が死んでしまつて、男の兄弟が生き残つていてあつたそうだなあ。

せな（兄）の方は体が弱くて寝ていてあつたそうだ。舎弟の方は丈夫で毎日のように山で稼いで、山芋掘つてきては二人して食つていたそうだなあ。

せなにはうまいのしくて、舎弟はガリガリの「あつくび」んどこ食つていたそうだなあ。せなはあんまり利口でなかつたので、感謝するどころか毎日食うどきなんと逆こいて、意地の悪いこと言つて舎弟を困らせておつたんだなあ。

「俺にはこんなうまいの食わせんだがあ、にしはまだまだうまいどこ、いっぺえ食つてんたべえ」
なんて悪い心を起こしてなあ、舎弟の腹ん中見たくて見たくて、憎くて憎くて、ある晩、舎弟が寝静まつと腹を裂いて見たそうだなあ。

ところが、せなが思つていたのとはまるつきり反対で、舎弟の喉も腹も「あつくび」ばっかりだつたそうだなあ。それで利口ではなかつたせなではあつたが、ハツと気がついて、

「舎弟は自分ではうまくないもの食つて、俺には芋のうまいどこくれたんだなあ、すまなかつた、すまなかつた」と泣き泣き、亡きがらにすがりついて泣いて泣いて、とうとう死んでしまつたそうだなあ。

その後、せなは舎弟を殺したからなあ、亡霊となつてしまつて、ホトトギスの鳥になつてしまつたそうだなあ。夜も昼も泣き通して、八千八声鳴かないと

何も食うことができなくなつてなあ、切なそうに鳴くだどお。

ホウチヨウカケタカ
オトウトコイシヤ

と鳴くんたど。ホトトギスになつたせなは、限りなく鳴かなくてはなんねから、口から血を吐き吐き鳴いていっから、口ん中が真っ赤になつているんだなあ。

そうしてホトトギスは、命の限り八千八声、毎晩毎晩鳴かなくてはなんねから、自分の卵を自分の巢で抱いて子どもをかえすことができなくて、よその鳥の巢に卵を産み落として育ててもらうんだそうだなあ。

また、ホトトギスは自然薯を思い出して、山芋の芽が出る季節になつと、この辺りに渡つて来るんだとよ。

ざつと昔、さけた。

元話 故長谷川民夫さん（川井）

間方の暮らしを体感 かんじき体験、そば作りなどのツアーを2回実施

間方地区の田舎体験ツアーは、日帰りとお泊二日のプログラムで2回実施され、同地区の皆さんが山村ならではのおもてなしをしました。

1回目のツアーは2月28日、県会津農林事務所の支援で実施されました。原発事故により会津若松市に避難している檜葉町や大熊町の方々と14人が参加。2mを超える積雪の中でのかんじき歩きのほか、手回し機械で練り出すそばや打ち豆作りなどを体験しました。また「かじや猫伝説」の紙芝居も披露されました。

久保田孝雄区長は「浜通りの方には仕事で昔お世話になりました。こんな雪深いところに来ていただきありがとうございます」とあいさつしました。また舟木義晴さんは「山から食べ物を探つて暮らしてきまして。ここには何も無いが絆があります」と山村での暮らしを語りました。参加した檜葉町役場会津美里出張所副所長の宇佐見雅夫さんは「間方地区では相互扶助の文化を大切にしていると感じました。避難している私たちも同じ思いです。同じ県民としてうれしく思います。いつかは檜葉に帰りたいたいと思っています」と話しました。

2回目のツアーは3月9日・10日、町観光協会の企画・募集により実施され、県内や首都圏から10人が参加。かんじき作りと雪山ウォーキングなどが行われ、豪雪の山村を満喫しました。食事は田舎料理を囲んで親睦を深めました。

町観光協会の企画・募集によるツアーは、平成24年度中に5回実施されました。田植えや稲刈り、山菜採り、味噌づくり、ざる編みなど四季を通して体験プログラムに、延べ50人が参加し楽しみました。



かんじきを履いて歩いた雪山ウォーキング

累計降雪 10.5 メートル (平成12年度)



民家に覆いかぶさる雪

近年にない大雪に見舞われた今年の冬。降雪量は10.5m、最大積雪は180cmに達しました。（西方地区で観測）

この大雪は町民生活に大きな被害をもたらした。正月早々の長時間にわたる停電や、家周りの除排雪の苦労、本当にお疲れさまでした。また実態が明らかになっていいますが、山林にも大きな被害が予想されます。

平成24年度の累計降雪量

平成24年12月～平成25年3月

観測地	降雪量
宮下	10.2 m
間方	13.3 m

町民センター図書コーナー ゆめぼけっと Book Review
●利用時間 ⑨～⑭ 9:00～21:00 ⑯～⑳ 9:00～17:00 ●お休み 年末年始 ㊟教育委員会 ☎(48) 5599



侍 遠藤周作 著 新潮社

東北の下級武士が藩主の命で宣教師とともに海を渡る。7年の旅を終え帰国すると、目的遂行のためとはいえキリスト教に帰依したことを理由に悲劇的な結末を迎える。



小暮写真館 宮部みゆき 著 講談社

古い写真館に住むことになった花菱一家。心霊写真など奇妙な写真が持ち込まれる。高1の英一の目線で語られるミステリーとホームドラマの融合といえる小説です。



最初の刑事 ケイト・サマー スケイル 著 早川書房

1860年、イングランドの田舎町で幼児惨殺事件が起きた。当時はまだ「刑事」というものが知られていない時代。その草分けとなった捜査を描いたノンフィクション。

小島純さん 消防庁長官表彰

永年勤続功労章

2013.3.6



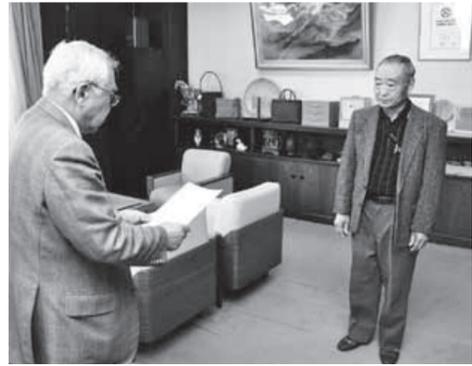
永年勤続功労の章記を手にする小島純さん

小島純さん(宮下)は消防活動の功績が認められ、消防庁長官表彰を受けました。表彰式は3月18日、会津若松合同庁舎で行われ、小島さんに永年勤続功労章が伝達されました。小島さんは昭和52年に町消防団に入団。理容業のかたわら35年間、消防に尽力しています。宮下班長、訓練部長などを歴任し、現在は分団長を務めています。

町交通教育専門員に栗城功さん

角田一郎さん退任

2013.4.1



二瓶町長から町交通教育専門員の委嘱を受ける栗城功さん

栗城功さん(宮下)に町交通教育専門員を委嘱しました。交通教育専門員は、児童生徒の登下校時などの安全指導や、交通教室でのルール指導、街頭での交通安全運動などに当たります。

これまで務めてきた角田一郎さん(宮下)は退任しました。角田さんは平成18年から7年間、子どもたちの安全を毎日見守ってきました。

雪と火のまつり出店売上金を町社会福祉協議会に寄附

東北電力(株)

2013.3.1



町社会福祉協議会の横田源一会長(左)に寄附金を手渡す東北電力(株)の戸田靖久会津若松支社長と黒田善徳只見川ダム管理所長

東北電力(株)は2月9日に開催された第41回雪と火のまつりに出店し、その売上金を町社会福祉協議会(社協)に寄附しました。同社の戸田靖久会津若松支社長が3月1日、社協を訪れ、横田源一会長に寄附金を手渡しました。同社の黒田善徳只見川ダム管理所長、佐野志保総務課担当副長、社協の小松順太郎事務局長が立ち会いました。

町の人事

●3月31日付退任
▶教育長=北館長一
▶地域政策課長=渡辺春吉
(※県農林水産部農林総務課へ異動)

●4月1日付着任
▶教育長=矢澤源成

●4月1日付異動
※氏名の後のかっこ書きは旧役職または旧所属課です。

【課長相当職】
▶地域政策課長(県派遣)=佐々木健(県保健福祉部国民健康保険課)

【係長相当職】
▶地域政策課地域政策係長・只見川電源流域振興協議会事務局・奥会津5町村活性化協議会事務局=小柴謙(地域政策課地域政策係長・生活工芸館長・交流センター山びこ所長)

▶地域政策課生活工芸館長・交流センター山びこ所長=星保弘(町民課)

【一般職】
▶地域政策課生活工芸館・交流センター山びこ=二瓶聡子(教育委員会生涯学習課) ▶地域政策課生活工芸館・交流センター山びこ=二瓶大樹(地域政策課六次化推進班) ▶町民課=五十嵐義展(地域政策課六次化推進班) ▶総務課・選挙管理委員会書記=大竹重一郎(総務課)

●4月1日付採用
▶教育委員会生涯学習課=山口一也(桧原)

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯(2月)

1件

自転車利用時のお願い

雪解けが進み、自転車を利用することが増える季節となりました。自転車の盗難や交通事故などの被害に遭わないよう次の点に注意してください。

◆自転車にはツーロックを(二重ロック)

自転車の盗難は県内の全刑法犯の中で最も多い犯罪です。無施錠やワンロックの自転車の被害が大多数で、ツーロックの場合は極めて少なく、被害防止に高い効果があります。

入学祝いなどで購入した自転車が盗まれないように、ワイヤー錠などをもう一つ取り付け、ツーロックしてください。

◆福島県自転車安全利用五則

- ①原則車道を左側通行
- ②歩行者優先、車道寄りを徐行
- ③信号遵守と一時停止、安全確認
- ④安全ルールとマナーを守る
- ⑤被害軽減のためヘルメット着用

街頭犯罪発生件数(1月~2月)

区分	管内	三島町
強盗		
空き巣ねらい		
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗	1	
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機ねらい		
車上ねらい		
ひったくり		
部品ねらい		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	1	0
全刑法犯	9	3

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

県民健康管理調査問診票書き方の出前説明会

県と県立医科大学では、「県民健康管理調査基本調査問診票」に関する出前書き方説明会を、皆さまのご要望に応じて開催します。

開催日時は土・日・祝日を除く午前9時から午後4時までの間で、1回あたり10~15名までの対応が可能です。詳しくは県立医科大学県民健康管理センターまでお問い合わせください。

◎県立医科大学
県民健康管理センター
☎024(547)1786

あなたの健康、見守ります。 検索



県民健康管理調査基本調査問診票

ご寄附
ありがとうございました

町へのご寄附
(ふるさと納税)

舟木良平様
(岡山県玉野市)

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

飯塚徳男様(大石田)
五十嵐千代喜様(大谷)

ねんりんピック参加者募集

5月23日④に郡山市で開催される「うつくしま、ふくしま。健康福祉祭第21回すこやか福島ねんりんピック」の各競技の参加者を募集します。

◆競技種目
卓球、テニス、ソフトテニス、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ(6月4日)、弓道、剣道、グラウンドゴルフ、ウォークラリー、なぎなた、太極拳、ソフトバレーボール、ターゲットバードゴルフ、バウンドテニス、クロリティー、ディスクゴルフ、マレットゴルフ、囲碁、将棋(計20種目)

◆会場
郡山市内(郡山総合体育館ほか)

◆参加資格
県内在住の60歳以上の方(昭和29年4月1日以前に生まれた方)

◆参加料 無料

◆留意事項
①第26回全国健康福祉祭こうち大会(平成25年10月26日~29日)への派遣選手は、本大会の成績等を参考に選考されます。

②ゴルフ交流大会を除くすべての競技の申込期限は4月19日⑤まで、ゴルフ交流大会については5月20日⑥【先着順】締切とします。

※参加人数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

◎県老人クラブ連合会
☎024(523)2131
県高齢福祉課
☎024(521)7197

町の人口と世帯
3月1日現在

人口	1,895	-5	出生	0
男	908	-2	死亡	3
女	987	-3	転入	0
世帯	835	-1	転出	2

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

歴

史を積み重ねて32回目の三島町生活工芸品展。山ブドウ皮やヒロロなどのかご、バッグが目立つ中で、「道具の百貨店」といわれた生活工芸の原点が失われているとの声もあります。五十嵐陽二さんの「むしろ」は、暮らしに根付く道具としての継承が評価されました。そのほか「四つ目ざる」「背負い梯子」などの伝統的な道具、「テーブルセンター」「スマホケース」など工夫した作品が上位賞に選ばれました。



全国展・経済産業大臣賞
ヒロロバッグ (福田令子 作)

経済産業大臣賞を受賞

福田令子さん (栃木県)

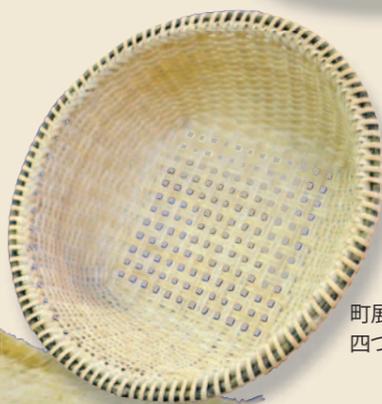
ヒロロにほれ込み、三島に何度も通って習いました。これからはずっと作り続けたいと思います。



町展・奨励賞
山ブドウ皮ペンダント
(渡部佐治郎 作)



全国展・林野庁長官賞
根曲竹つくりこみ花びく
(田中久夫 作)



町展・伝統技術者証
四つ目ざる (角田清義 作)



町展・宮崎清賞
山ブドウ皮長財布 (細堀美和 作)



町展・優秀賞
カラムシのテーブルセンター
(渡部和 作)

全

国編み組工芸品展は12回目を迎え、作品数は過去最高を数えました。経済産業大臣賞を伝達した同省伝統的工芸品産業室の多田俊樹室長は「各地の伝統工芸が厳しい状況の中、ここでは品薄となる人気で、皆さんの30年にわたる努力の成果だと思えます。今後も頑張ってください」と激励しました。

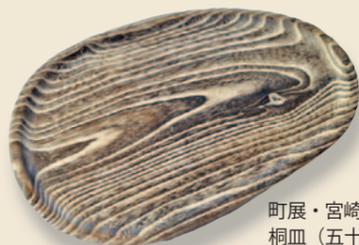
暮らしに技 心に生きがい

第32回三島町生活工芸品展

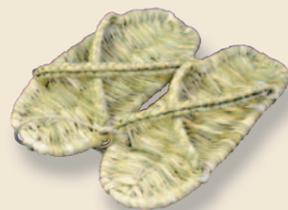
【受賞者】(敬称略)

- ▼大賞 五十嵐陽二 (名人)
- ▼大賞 五十嵐陽二 (名人) ひとり
- ▼伝統技術者証 角田清義 (浅岐) 四つ目ざる
- ▼優秀賞 菅家アイ子 (間方) 山ブドウ皮抱えバッグ、渡部和 (大石田) カラムシのテーブルセンター、千葉アキ子 (滝原) ヒロロ手提げバッグ
- ▼奨励賞 五十嵐富一 (大谷) 背負い梯子、松本みちよ (宮下) ヒロロのスマホケース、渡部佐治郎 (西方) 山ブドウ皮ペーダント
- ▼町生活工芸運動友の会長賞 青木英逸 (西方) 山ブドウ皮手提げかご、二瓶トヨ子 (桑原) ヒロロ手提げバッグ、板橋滋子 (滝原) ヒロロ手提げバッグ、二瓶辰雄 (西方) 半ざる
- ▼町文化協会賞 川島チヨエ (大石田) ヒロロ手提げバッグ
- ▼町観光協会賞 飯塚キシノ

- (大石田) 山ブドウ皮ペンダント
- ▼町商工会会長賞 目黒良介 (滝谷) 半ざる
- ▼日本赤十字社支部長賞 飯塚千代子 (大石田) ヒロロ手提げバッグ
- ▼県老人クラブ連合会長賞 渡部サクヨ (大石田) お手玉
- ▼町老人クラブ連合会長賞 角田進 (川井) ホウキ
- ▼町社会福祉協議会長賞 二瓶讓 (大谷) 山ブドウ皮手提げかご



町展・宮崎清賞
桐皿 (五十嵐正一 作)



町展・南マルシェみしま賞
ガマのスリッパ (菅家ハルイ 作)

- ▼福島民報社賞 角田直枝 (浅岐) ヒロロ手提げバッグ
- ▼福島民友新聞社賞 菅家千代子 (間方) アケビ手付花ざる
- ▼南マルシェみしま賞 菅家ハルイ (間方) ガマのスリッパ
- ▼宮崎清賞 角田清義 (浅岐) そばざる、角田晴実 (川井) 樽田ざる、羽賀孝子 (滝谷) 山ブドウ皮手提げかご、菅家欣子 (間方) 山ブドウ皮手提げかご、小池ケイ子 (西方) 山ブドウ皮手提げかご、細堀美和 (宮下) 山ブドウ皮長財布、五十嵐正一 (西方) 桐皿、小柴チヨ (西方) ヒロロシヨルターバッグ、菅家アイ子 (間方) モワダシヨルターバッグ、久保田節子 (間方) ヒロロ抱えバッグ、渡部ユキ子 (荒屋敷) ヒロロ丸型手提げバッグ、五十嵐富一 (大谷) ガマ手提げかご

第12回全国編み組工芸品展

- 【受賞者】(敬称略)
- ▼経済産業大臣賞 福田令子 (栃木県) ヒロロバッグ
- ▼林野庁長官賞 田中久夫 (長野県) 根曲竹つくりこみ花びく
- ▼東北経済産業局長賞 三星智善 (喜多方市) 根曲竹の梅干かご
- ▼福島県知事賞 安部たづえ

- (千葉県) 山ブドウ皮手提げかご
- ▼財伝統的工芸品産業振興協会賞 竹内啓子 (青森県) アケビのテーブルシリィズ「雪がこい」
- ▼三島町長賞 青木基重 (西方) 山ブドウ皮手提げかご
- ▼奥会津三島編組品振興協議会長賞 板橋サガミ (滝原) ヒロロ手提げバッグ、菅家哲夫 (金山町) 角浅ざる
- ▼福島民報社賞 高倉清勝 (岩手県) 和洋服ハケ
- ▼福島民友新聞社賞 千葉文夫 (宮城県) 篠竹の果物入れ
- ▼NHK福島放送局賞 小山田耕治 (鹿児島県) 真竹ふた付きかご
- ▼福島テレビ賞 佐藤聡明 (福島市) アケビの入れ子式五段組かご
- ▼福島中央テレビ賞 飯塚喜一 (只見町) こしざる
- ▼福島放送賞 階登 (岩手県) つまご
- ▼テレビユー福島賞 溝井友子 (石川町) ウリハダカエデのかご
- ▼奨励賞 野中勇 (会津美里町) 深ざる、大竹りう子 (西会津町) ヒロロ手提げバッグ、五十嵐道夫 (昭和村) クルミ手提げかご、今野伍郎 (山形県) 山ブドウ皮手提げかご、原山昭俊 (長野県) 根曲竹かばんかご、濱野和弘 (郡山市) アケビかご (魚)



町展・大賞
むしろ (五十嵐陽二 作)



「大林ふるさとの山」 三島町西方

オオヤマザクラの林が広がり、その山肌にはカタクリが雪解けを待って一斉に花を咲かせます。その群生は年々広がり、山一つが紫色に包まれます。斜面の遊歩道を歩いて楽しむことができます。



雪解けの四月 咲き誇る里山

オオヤマザクラとカタクリの花の名所「大林ふるさとの山」。地元の西方地区と西方共有財産管理会の方々が整備を行い、美しい里山の景観を守っています。

見ごろは早ければ4月中旬、遅かった昨年はゴールデンウィークに重なりました。雪解けの時期や天候に左右されますので、開花情報をお問い合わせの上お出掛けください。

☎ 三島町観光協会
0241(48) 5000
<http://www.mishima-kankou.net/>



開花シーズン中は地元の方々のおもてなしがあります。

編集後記

▼当町には民間のアパートや分譲地などありません。「移り住みたい。宅地を買いたい」などと考えても、なかなか情報が無いのが現状です。町外から移住したり、新しく家建てたりすることが難しい環境だといえます▼平成22年10月の国勢調査で町の人口は県内ワーストの14%減でした。その後も今年3月までの2年5カ月で142人減り、世帯数も20世帯減っています。町を歩けば、出会う人はほとんど顔見知り。気軽に安心かもしませんが、町のコミュニティは小さくなるばかりです▼新たな町営住宅の整備が予定されています。住宅に悩みを抱えてきた一般の方も交えて検討しています。住まいについて考えていくと、それは人生を考えることだと気がきます。ここに住むことを選び、人の輪が新しく生まれ、夢がふくらんでいく。そんな住宅になることを願っています。